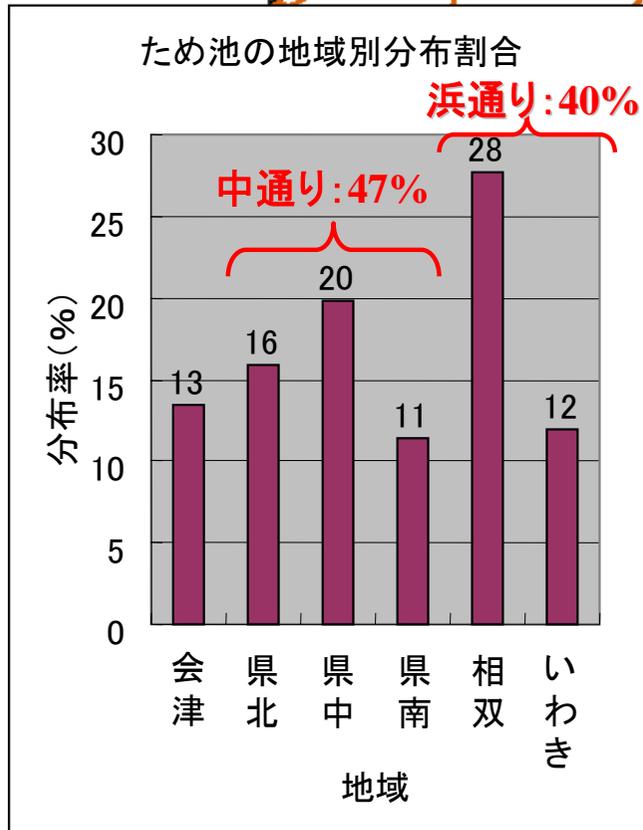


先人が築いた導水・ため池の上に成り立つらし



- ・大規模な導水が多い
- ・相双、県中にため池が多い

資料: ふくしま水プラン(H5)、阿武隈川流域総合調査報告書2002-2004(H17.3)、ため池一覧(農業基盤整備G)

人々の心や地域の暮らしと密着し、引き継がれる「水文化」



水神様(檜枝岐村)



酒



水かけ祭り(福島市)



田植え神事(会津高田町)



食文化



紙漉き(いわき市)

## 水で洗い、水に流す歳時行事や言い伝えの衰退

### ・水難避け

例)カビタレ朔日：県内全域(現在は行われていない)

餅を丸めて川に流し、カビタレ(カワビタリ「川浸り」という意味)をくわぬように水神に祈った。県内全域で12月1日に行われていた行事。浜通りでは「カッペリケイモチ」の名称。

(資料:「会津の年中行事」 会津若松市)



カビタレ餅(再現)

### ・厄払い

例)ひな流し：三島町高清水地区(県重要無形文化財指定)

身のけがれや災いを人形に託して流す行事。女性の厄を移した紙びなが、川から海を経て、おひな様の発祥の地とされる和歌山県の淡島神社まで代参してくれるように願いが込められている。

(資料:「会津の年中行事」 会津若松市)



ひな流し

### ・妖怪伝説(川での水遊びの戒め)

例)・河童： 県内全域

・あずきあらい： 阿武隈川の水源地方、会津地方

川のほとりで小豆を洗うような音をさせる。

誘われると川に落ちてしまうという。

(資料: 福島県史、みちのく怪道風まかせHP)



いわき河童